

ご寄附の方法

□ ゆうちょ銀行、郵便局、三井住友銀行窓口でのお振込み

指定の払込取扱票に必要事項をご記入の上、ゆうちょ銀行、郵便局または三井住友銀行店舗の窓口でお振込みください。お手元に払込取扱票がない場合は、お手数ですが、静岡大学 広報・基金課基金係までお問合せください。

□ インターネットからのお申込み

未来創成基金ウェブサイトより、下記の方法でお申込み頂けます。

○クレジットカード決済 ○コンビニ決済 ○Pay-easy(インターネットバンキング決済)



静岡大学
未来創成基金
ウェブサイト

□ リサイクル募金によるご寄附

古本・DVD・ブランド品などをリサイクルし得られたお金が、寄附項目“大学運営全般”として寄附され、本学の教育研究活動や学生支援などに役立てる取り組みです。リサイクル品の回収は、WEB・お電話からお申込みいただけます。詳しくは右記QRコードよりリサイクル募金のウェブサイトをご覧ください。



リサイクル募金
ウェブサイト

2023年度は1,189点
416,474円のご寄附となりました

□ 遺贈寄附による寄附

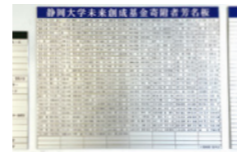
遺言によるご寄附を希望される方は、静岡大学広報・基金課基金係までお問合せください。

寄附特典

■ ご寄附の累積額に応じた謝意の表明と特典

特典	個人	法人及び団体
芳名板の静岡キャンパス及び浜松キャンパスでの掲示	10万円以上	200万円以上
上記に加え、感謝状及び記念品の贈呈	50万円以上	500万円以上
上記に加え、大学の催し物へのご招待	500万円以上	1,000万円以上

※特典は予告なしに変更することがあります。



静岡キャンパス学生会館の芳名版



記念品は、静岡県・森町の工芸品
“森山焼”の湯飲みとお茶のセット



静岡大学広報誌「SUCCESS」

■ ご寄附いただいた全ての皆様への謝意の表明と特典

○静岡大学広報誌「SUCCESS」の送付(1回のご寄附につき原則2回)

○静岡大学未来創成基金ウェブサイトへのご芳名掲載

※ご芳名の掲載・掲示を希望されない方々につきましては、掲載・掲示いたしません。

■ 紺綬褒章

紺綬褒章は国の褒章制度のひとつで、公益のために、私財(個人は500万円以上、法人等は1,000万円以上)を寄附した方に授与されます。本学では、寄附者様のご意向を確認させていただきます。

※国の審査があります

■ 税制上の優遇措置

個人からのご寄附	静岡大学未来創成基金へのご寄附の全てが、 所得控除 の対象になります。 「修学支援事業」、「研究等支援事業」へのご寄附は、 税額控除 の対象になります。 お住まいの都道府県・市町村によっては、 個人住民税の控除 が受けられます。詳しくは、お住まいの都道府県・市町村にお問合せ願います。
法人・団体からのご寄附	静岡大学未来創成基金は、法人税法上の全額損金算入を認められる寄附金(法人税法第37条第3項第2号)として財務大臣から指定されております。 お寄せいただいた寄附金は、法人の所得から控除され、税法上の優遇措置を受けることができます。

静岡大学未来創成基金 活動報告書 2023



静岡大学
Shizuoka University



静岡大学未来創成基金 2023年度のご報告

皆様の温かいご支援ご協力に、心より感謝申し上げます。

静岡大学未来創成基金にご支援いただきありがとうございます。

2012年度創設から2023年度までの静岡大学未来創成基金へのご支援累計は下記になりました。

累計総額 861,369,785円 | **累計総件数 8,793件**

(2012年度創設～2023年度)

寄附受入額

寄附受入件数
(2023年4月1日
～2024年3月31日)

216件

寄附受入総額

20,893,873円

静岡大学の活動に対してご支援を賜り、誠にありがとうございます。

本学は、「自由啓発・未来創成」の理念のもと、静岡県に立地する総合大学として、地域の豊かな自然と文化に対する敬愛の念をもち、質の高い教育、創造的な研究による人材の育成を通して、人類の未来と地域社会の発展に貢献することを目指しています。

2023年度は、静岡大学未来創成基金に「学部・附属学校園等支援事業」の寄附目的を追加し、皆様のゆかりのある学部・研究科・附属学校園を指定してご寄附いただけるようになりました。これにより、特定の学部・研究科・附属学校園の教育研究の質の向上、学生支援、施設の修繕などの事業を実施し、児童・生徒・学生の勉学、教員の研究への支援を進めていきます。

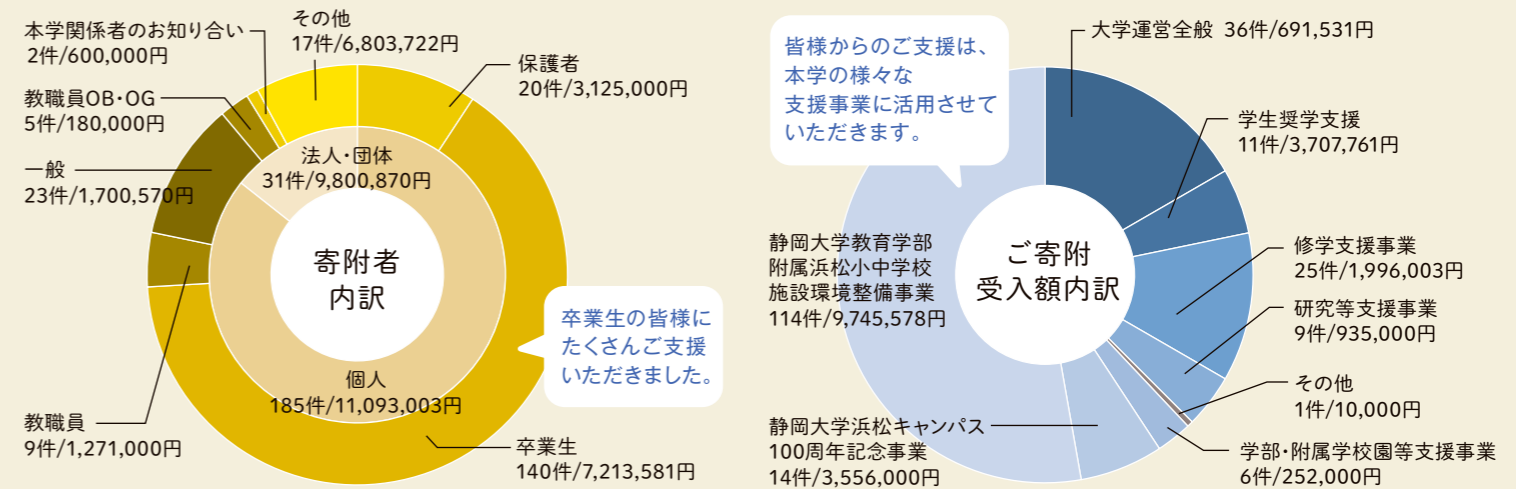
また、基金を活用して、ロシア軍によるウクライナへの軍事侵攻の中、学業や研究活動を継続することが困難なウクライナの協定校に在籍する学生の受け入れを実施してまいりました。

皆様からのご寄附は、幅広い支援事業を通じて、引き続き社会に還元していく所存でございます。本学への変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



静岡大学長

日誌一章



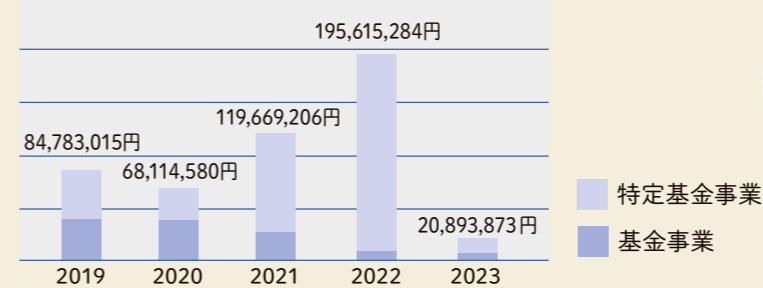
皆様からのご支援は、本学の様々な支援事業に活用させていただきます。

卒業生の皆様にたくさんご支援いただきました。

ご寄附ご協力をいただきました皆様に、改めて深く感謝申し上げます。



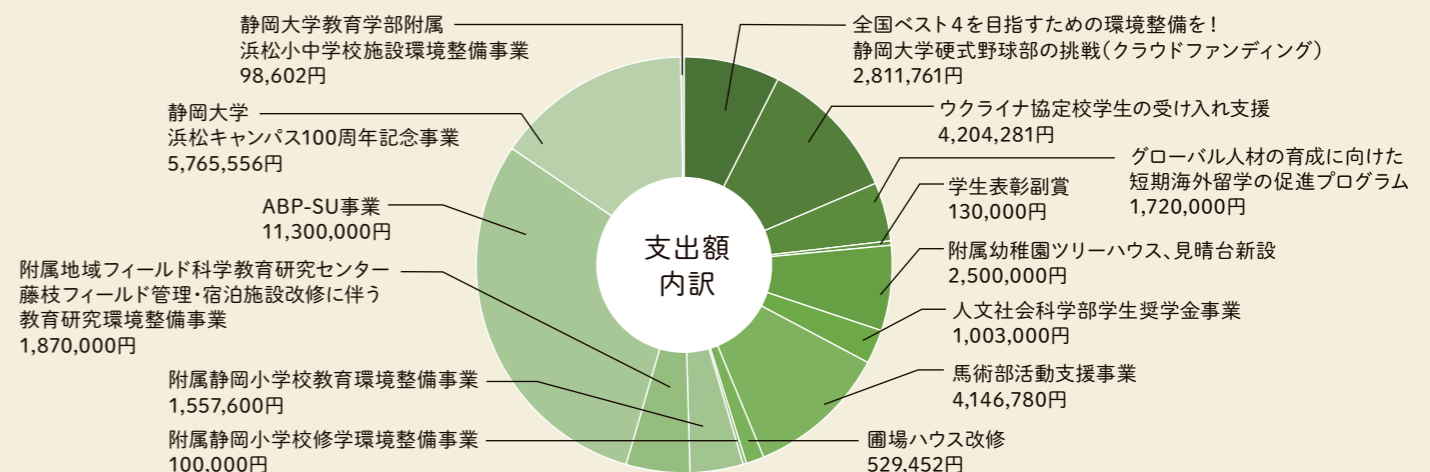
寄附受入額の推移(年度別)



支出報告

支出合計 (2023年4月1日～2024年3月31日)

37,737,032円



6つの項目から選んでご寄附いただけます。

静岡大学未来創成基金は、学生支援、研究・教育活動、国際交流の充実、環境整備を支援するために設置されました。2012年度から卒業生や地域の皆様より多大なご支援を賜り、本学の幅広い活動に活用させていただいています。

2023年度も皆様のご寄附で、さまざまな事業を行うことができました。学生たちの感謝の声とともにご紹介します。



大学運営全般



学生奨学支援



修学支援事業



研究等支援事業



学部・附属学校園等支援事業



特定基金事業



大学運営全般

学術研究支援、国際交流事業、キャンパス整備等の大学運営全般に広く活用します。

ウクライナ協定校学生の受け入れ支援

ロシア軍のウクライナ侵攻に伴い、学業や研究活動を継続することが困難な学生を交換留学生として受け入れ、その生活支援を行います。2022年9月から計8名の学生を受け入れました。

支援の報告

Sofia Kozlova (ソフィア コズロヴァ) さん
ウクライナ国立技術大学 (National Technical University of Ukraine)

私が通っているウクライナ国立技術大学のウクライナ・日本センターからこのプログラムのことを聞き日本に来ることを決めました。以前から日本語の学習に興味があり、また、いつか日本に行ってみたいと思っていたので、とても良い機会になりました。日本に来ることに限っては両親が背中を押してくれました。日本に来て、勉強をし、日本文化に直接触れる機会を得ることができ、とても感謝しています。また、金銭的なご支援をいただいたことで、お金の心配をすることなく過ごすことができました。生活面も日本人学生のチューターや指導教員による支援や国際交流ラウンジでの活動があったので、問題なく過ごすことができました。皆様のご寄附による支援にとっても感謝しています。



学長表彰副賞

学術研究活動や課外活動、社会活動において特に顕著な業績を挙げた学生や団体に学長から表彰状が授与され、副賞として奨励金が贈呈されます。未来創成基金による支援を2016年度に始めてから、個人94名、15団体が表彰されました。2023年度は、個人7名、2団体が受賞しています。



修学支援事業

経済的理由により修学に困難がある学生等に対する支援をします。【税額控除対象】

グローバル人材の育成に向けた短期留学の促進プログラム

全学の学生に対し、新たに慣れ親しんだ環境から飛び出して海外で外国語によるコミュニケーション能力の向上をはじめとした能力を身につけ、地域や世界規模の課題を自ら解決することができるグローバル人材育成を目的として設置されました。夏季休暇・春季休暇中に国際連携推進機構が実施する短期留学プログラムで実施する語学研修等に経済的理由により自費のみでは海外留学参加が困難な学生に対し奨学金を支給します。

支援の報告

内山創太さん 工学部3年

夏季短期留学で、マレーシアのクアラルンプール市内にあるマラヤ大学に留学しました。東南アジアで最も先進的な国の一つで、東アジアと西アジアをつないでいる位置にあるため、クアラルンプールは多様な文化が混ざり合って発展した街で熱気に満ちていました。現地の人たちは、とても陽気で「すべてなんとかなるさ」というメンタリティーなので、言語の壁を乗り越えて、仲良くなることができました。

授業はすべて英語で、英語について英語で学ぶのは新鮮でした。ゲーム形式やプレゼンテーション形式など参加型の授業で、楽しく学びながら英語学習への意欲を高めることができました。現地のダンスや食文化をプロの先生から学ぶことができる授業もあり、日本との共通点や相違点に気づき、現地に根付いた文化を深く知り、リスペクトすることができました。

留学を通して学んだことは、恐れずにチャンスに挑戦する積極性の大切さです。特に意識して、暇さえあれば現地の学生に話しかけるようにしていたため、英語で会話することへの恐れをなくすことができました。会話ができるようになるにつれ、授業でも積極的に発言できるようになり、自信が付き、挑戦しようという気持ちになりました。たくさんの場所にも連れて行ってもらえたり、友人を紹介してもらえたり、さらなるチャンスを得ることもできました。



今回の短期留学を通して、英語力をさらに付けたいと思うようになり、長期の交換留学にも挑戦することにしました。培った英語力を交換留学でも用いてさらなる向上につなげていきたいです。ご寄附いただいた皆様、本当にありがとうございました。



クアラルンプールの旧庁舎前で、現地の学生たちと（一番左が内山さん）



学生奨学支援

優秀学生に対する奨学金等の援助、課外活動への支援、その他学生支援に必要な事業を支援します。

支援の報告



購入した2輪ピッチングマシン

硬式野球部活動支援(クラウドファンディング)

「全国ベスト4」を目指すため、野球にもっと打ち込める環境を作り、さらに強くなりたいという硬式野球部の熱い想いを込めたプロジェクトです。

硬式野球部部員 一同

皆様にご支援いただいた寄附のおかげで、2輪ピッチングマシン、スローボールマシン等を導入し、カーテンネット、ブルペンを補修するなど、練習環境を大きく改善することができました。ご支援を賜り大変ありがとうございました。これ以降、目標として掲げている全国の地で戦うことは叶っていませんが、今後も変わらず全国ベスト4を目指して邁進していきます。最後になりますが、今後とも変わらずご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



研究等支援事業

学生やポスドク等の若手研究者を支援します。【税額控除対象】



学生または不安定な雇用状態にある研究者に対する研究活動費用の支援や研究者としての能力等の向上を目的とした交流の促進などの事業を行います。競争力のある研究の推進や世界で活躍する人材の育成のため、ご支援のほどよろしくお願い致します。





学部・附属学校園等支援事業

ゆかりのある学部・研究科・附属学校園を指定して寄附いただけます。

支援の報告

【人文社会科学部】奨学金事業

人文社会科学部では、「学業成績が優れ、経済的理由により修学困難な学生」または、「学業成績が特に優れた学生」に対し奨学金を給付しています。

NGUYEN TIEN HUNG(グエン ティエン フーン)さん

人文社会科学部3年

人文社会科学部奨学金のおかげで生活費の負担が軽減し、学業に専念できました。そのため、アルバイトを減らして収入が減っても、生活に支障はありませんでした。

また、奨学金のおかげで、学業に専念するだけでなく、課外活動にも積極的に参加することができました。学内外の国際交流のサークル、団体に参加し、日本人と外国人の大学生との異文化理解を目的とするイベントを企画し、実施してきました。その一環として、「SDGs推進TGCしずおか2024」では、静岡市国際交流課のブースに参加することができました。今後は、勉学に努めながら、さらに多くの有意義な活動やイベントに参加したいと考えています。また、卒業に向けて、資格試験の勉強やインターンシップにも力を入れたいと思います。寄附者の皆様のおかげで、生活費の負担が軽減され、学業や課外活動に打ち込むことができました。本当にありがとうございます。今後も自分の将来や日越関係の発展のために、さらに努力していきたいと思っています。



高校で異文化理解の授業を行いました



学内の国際交流ラウンジで、ベトナムの文化を紹介しました

【農学部】藤枝フィールド管理・宿泊施設改修

2022年度に引き続き改修を行い、学生が使用する講義室・会議室にプロジェクターを設置しました。従前のプロジェクターより機能も優れ、きれいに映し出されることから、学生からはたいへん見やすくなったとの声が届いています。講義室・会議室の整備が進んだことから、教育研究環境の改善による効果が期待されます。



設置したプロジェクター

【農学部】圃場ハウスの改修

台風でフレームが変形し使用できなくなった圃場ハウスの改修工事を行いました。学生の修士論文として取り組んでいるワサビの栽培室として活用しています。



【附属幼稚園】見晴台「うきうきつりー」新設

見晴台「うきうきつりー」を設置しました。ツリーハウスのような遊具を園庭につくろうと、2年ほど前から教員や保護者が準備を進めてきました。幼稚園の園庭には、高い木があり、鳥がやってくることがあります。その豊かな環境の中で、園児たちに探求心や思考力を育てほしい、そして、高いところから見渡し自然を感じることで、よりリアルな体験を広げ、質の高い学びに繋がりたいという想いで新設しました。園児からは、「木と仲良しになって鳥や虫を見たいな」「高いところから何が見えるか楽しみ」と喜び声がありました。

【附属静岡小学校】体育館の緞帳と藤棚の修繕

経年劣化により生地が擦り切れ、破れてしまっていた体育館の緞帳を修繕しました。また、こちらも経年劣化により破損および錆が出ていた運動場脇の藤棚を修理、再塗装しました。

【附属静岡小学校】72冊の書籍を新たに購入

図書室に「文学」の本を中心に72冊の書籍を新たに取揃えました。新書コーナーを設け配架したところ、新しい本を手に取り、読み始める児童の姿が見られます。これからも大切に読み繋いでいきます。



修繕した緞帳と購入した書籍



特定基金事業

特定の用途目的を定め、期間を限定し募集をしている事業です。

支援の報告

ABP-SU事業(アジアブリッジプログラム)

県内企業が多く進出するタイ、インドネシア、ベトナム、インド、ミャンマーを重点に、企業や自治体と連携して、静岡県とアジア諸国の架け橋として活躍する人材を育成する事業です。2023年度は、55名に奨学金を支給しました。

HOANG YEN NHI(ホアン イエン ニー)さん

静岡大学は、留学生に適したカリキュラムを提供しており、各国間の短期留学や文化交流プログラムなども非常に充実しているため、静岡大学を希望しました。また、静岡大学に進学することで、世界とのつながりを深め、日本及び他国の社会や文化をより深く理解し、自分の視野を広げたいと考えています。アジアブリッジプログラムを通じて自分の日本語能力を向上させ、自分の考えをスムーズに表現できるようになりました。また、新書を読む授業を通じて、以前では考えもしなかった専門的な新書等を読めるようになったことも大きな成果だと思います。卒業後は社会に貢献できる場で働き、補助を求める来日外国人をサポートしたいと考えています。



東華大(中国)学生との交流イベントで発表しました



浜松キャンパス100周年記念事業

浜松キャンパスは、2022年で迎えた設立100周年を記念し、教育・研究の充実を図るための特定基金を設置しました。2023年度は発行した「静岡大学浜松キャンパス100年史」を寄附者に配付しました。今後は、事業の制度設計を行い、浜松キャンパスの教育研究の充実を図ってまいります。※2024年6月から寄附募集を再開いたしました。

募集中の特定基金

静岡大学浜松キャンパス100周年記念事業

募集期間：2024年6月3日～2026年3月31日



浜松キャンパス100周年記念事業ウェブサイト



2023年3月31日をもって寄附募集を終了いたしました。事業目的達成のため、募集を再開することとなりました。詳細につきましては、左記の二次元コードから同特定基金ウェブサイトをご確認ください。

静岡大学教育学部附属浜松小中学校施設環境整備事業

募集期間：2020年5月18日～2025年3月31日

小中一貫化に伴い、校舎の建て替えなど環境整備を行い、さらに、IT化を含めた将来における教育設備の充実を図るための基金です。新校舎は完成しましたが、引き続き皆様からのご寄附を募集しています。

Voice of Donors 寄附者からの声



齊藤 行雄氏

教育学部附属浜松小中学校同窓会長

課題解決に貢献する資質や能力を培う附属浜松小中学校の教育力に期待します

附属浜松小中学校は大正5年(1916)の開校以来108年の長きにわたり地域教育の中心であり続けてきました。令和3年度からはモデル校として小中一貫教育の先導的な取り組みを始め、令和6年には新校舎が完成し、問題解決力・国際感覚・豊かな創造性を身に付けた生徒を育成する環境が整いました。これを機にさらに躍動する附属になるよう期待を込めて寄附させていただきました。

本校の卒業生は様々な分野で活躍しています。学問、文化、芸術、スポーツ、医療、教育、経済、政治など多様性に富んでいます。今後はますます国内外に羽ばたく人材を輩出するものと思います。地球や人類を取巻く環境は年々難しい方向に進んでいますが、これらの課題解決に貢献する資質や能力を培う附属の教育力に期待しています。

附属の素晴らしい教育は教育活動の研究や実践に献身的な力を注いで下さっている教職員の皆様のおかげです。附属の歴史と伝統を長く繋いでいくために、私たち同窓会も深い理解と共感をもって、できる限り応援してまいりたいと考えています。